



LOGICROSS
COMMUNICATION



LOGICROSS
COMMUNICATION

CROSS
X-SERIES
APPEAL BOOK

LOGICROSS-Communication inc.



[HTTP://WWW.LOGICROSS.COM/](http://www.logicross.com/)

CROSS

X-LENSE

データマイニングによるベンチマーク診断ソリューション

- 「見えない課題を診える化し、戦略の焦点を合わせる」LENSEの役割を担う -



LENSE

L

Logic

感覚ではなく、
論理に基づいた課題設定

E

Evaluation

データ・指標で
課題や施策の状態を評価

N

Navigation

次の一手を導く
意思決定ナビゲーション支援

S

Simulation

検証を繰り返すシナリオ分析

E

Evidence

判断に必要な
根拠・裏付けを診える化する診断精度

CROSS
X-LENS E

サプライチェーン診える化ソリューション

基礎分析から得られた示唆に応じて、サプライチェーン上のどこにどのような課題があるかの仮説を想定立案します



サプライチェーンコスト・課題診える化

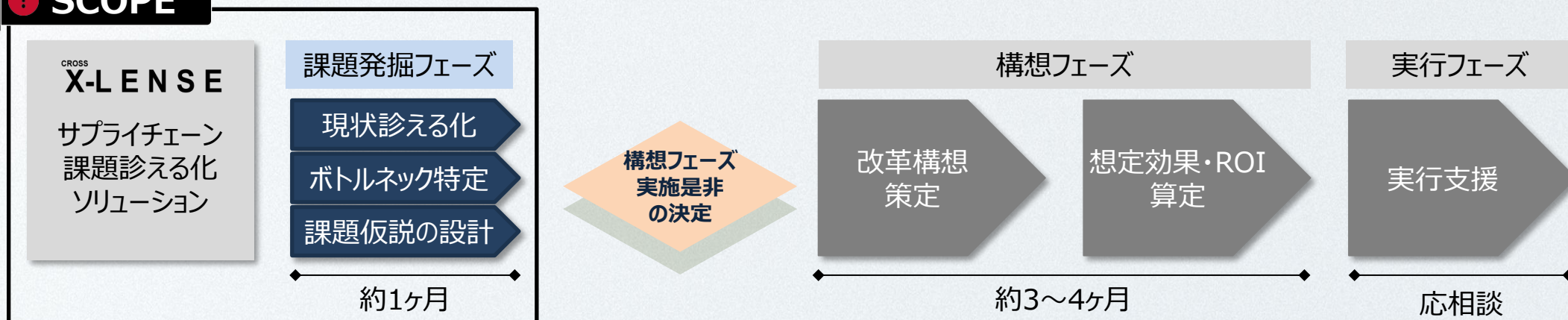


在庫適正・課題診える化

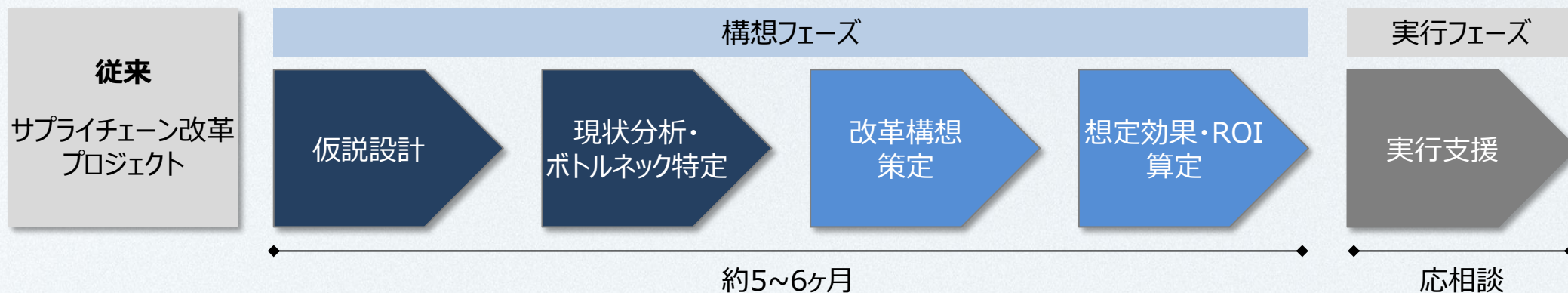


拠点(輸配送NW)・課題診える化

この度、課題診える化に特化した短期プロジェクトスキームを開発。現状診える化から課題仮説の設計までの工程をパッケージ化することにより顧客の求める課題仮説を品質そのまま短期間での提示が可能となります

SCOPE

改革実行判断材料の事前整理
期間短縮
分析ナレッジの凝縮



サプライチェーン上における傾向分析・コスト分析を診断、
想定課題の定量的洗い出しおよび業界他社ベンチマーク比較を行います

サービス概要

売上に対する拠点コスト/輸配送コストなど
サプライチェーンロジスティクス全体のコスト構造を
診える化し、ボトルネックと改善余地を特定。
コスト削減とサービスレベル維持を両立する
最適化施策を提示します。

解決までのアプローチ

STEP 1



各工程・コスト構造の
立体分析

STEP 2



売上に対するサプ
ライチェーンコスト・利益率
の見える化

STEP 3



サプライチェーン課題
仮説の設計

よくある課題

- コスト削減施策が機能せず利益を圧迫
- コスト内訳や負担割合が部門をまたいで見えない
- 在庫・保管・輸配送コストの増加が利益を圧迫
- 部門最適は進んでも、全体最適の視点が欠けている
- 定性的な改善施策に頼っており、効果が見えない

分析切り口

サプライチェーン全体のコスト構造を立体的に分析することにより
効果的なコスト課題を導きだ出すことが可能

①コスト構造

費目・組織階層別のコスト構造・
コスト効率を詳らかにしていくことで
コストが多く発生している対象プロ
セスを特定

②取引先

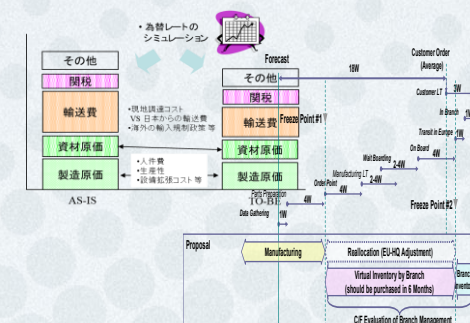
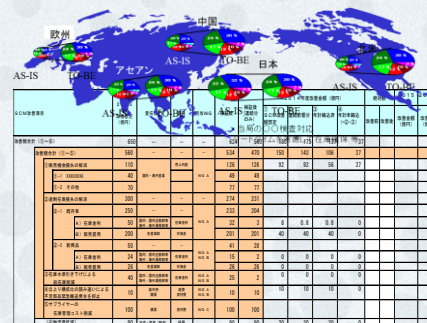
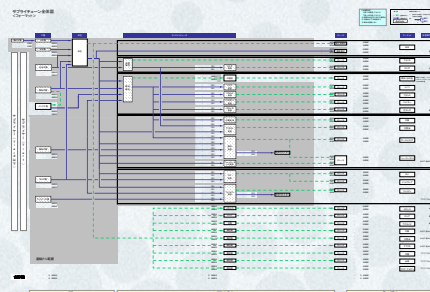
取引先毎の利益・コスト構造を明
らかにすることで取引先別の損益
実態とコスト項目別比率を可視化

③製品・商品

製品・商品単位でのサプライチェーン
コストを明らかにすることで、単位当
たりの限界利益やボトルネックを
特定

弊社の強み

- BIツールを活用した経営層への効果的なレポート
- サプライチェーン全体視点からの最適化提案
- 定量的な効果試算による投資判断サポート
- 部分最適ではなく全体最適を重視したKPI設計
- コスト削減とサービスレベル維持の両立を実現する改善アプローチ



在庫適正化に向けて、BIツールを用いて各種診断標準テンプレートとデータベースを作成
貴社商品のライフサイクルに合わせた在庫の持ち方について、在庫適正度合いおよび業界ベンチマーク評価を行います

サービス概要

在庫データを多角的に分析し、滞留品・低回転品を特定。
終末期商品の在庫削減や低回転品の発注抑制など、
欠品リスクに配慮した在庫圧縮施策を提示します。
在庫コスト削減・保管スペース削減・作業負荷軽減を
同時に実現します。

よくある課題

- 滞留在庫や低回転品が全体在庫の大きな割合を占め、保管コストや廃棄リスクが増加
- SKUごとの発注判断が属人的で、販売終了品や需要低下品の在庫削減が進まない
- 保管スペース逼迫や作業負荷増大により日常業務効率が低下
- 在庫構成や回転状況を定量的に把握できていない

● 弊社の強み

- BIツールを活用した経営層への効果的なレポート
- 在庫診断テンプレートに基づく、短期間での現状把握と重点課題抽出
- 終末期・低回転品への集中対処により、短期間で大きな削減効果を実現
- 保管コスト削減・作業負荷軽減・廃棄削減を同時に達成
- PoC型アプローチによる早期効果検証と改善サイクル定着化

解決までのアプローチ

STEP 1



商品ごとの出荷販売
傾向の診える化

STEP 2



商品ごとの在庫の 持ち方の傾向分析

STEP 3



在庫の持ち方
課題仮説の設計

分析切り口

非効率在庫群を特定した後に財務的な影響度を評価。絞られた対象商品に対して在庫サイクル軸で詳細課題を発掘することで実効性の伴った課題仮説とする

①シーズン属性

SKU毎に出荷特性を暴き、在庫周期性をパターン整理する

②出荷流量特性

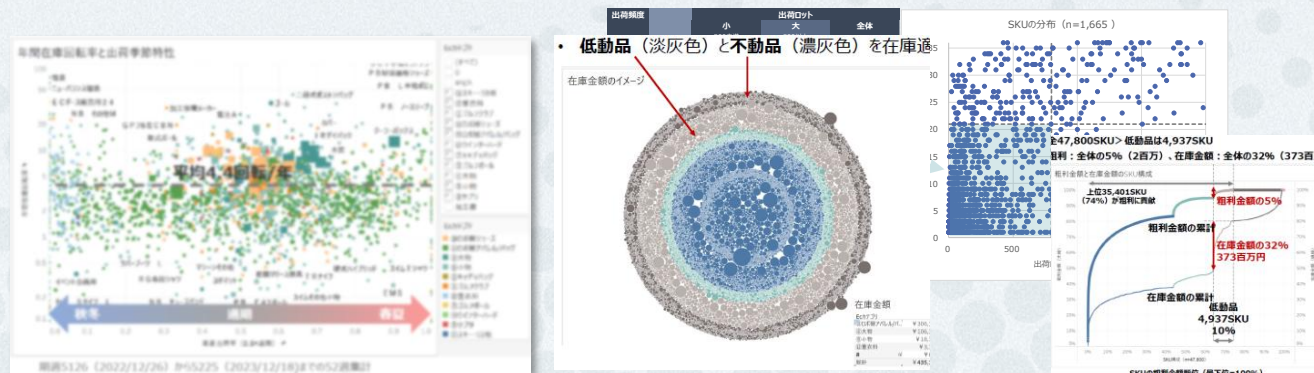
出荷ロット、出荷頻度でSKU分類した上で、注力すべき管理ポイントを暴く

③在庫期間

在庫としてキャッシュ停滞
を招いている滞留品、低
回転品の原因を暴く

④プロダクトライフサイクル

導入、成長、成熟、衰退
期の出荷と在庫の持ち方
(波動)の課題を暴く



BIツールを用いて各種診断を実施できる標準テンプレートとデータベースを作成、
地理的關係性および距離・時間を組み合わせた分析を元に貴社ネットワークの効率性・持続性の診断を行います。

サービス概要

Tableauを活用し、全国規模の輸配送ネットワークを診断。輸送コスト・リードタイム・運行距離を多角的に診える化することでボトルネックや改善余地を明確化、最適化シナリオを提示します。

解決までのアプローチ

STEP 1

流通構造フロー、拠点ネットワークにおける課題整理

STEP 2

輸配送ネットワーク
ボトルネック特定

STEP 3

輸配送ネットワーク
距離・時間制約

よくある課題

- 輸配送コストが高止まりし、改善の具体策が見えない
- 配送LTのばらつきや遅延により顧客満足度が低下
- 輸送ルート・積載効率・拠点配置が現状の需要に最適化されていない
- KPI（納期遵守率、積載率、輸送コスト率など）の継続的なモニタリングができていない
- 働き方改革による輸送能力低下に対応できていない

分析切り口

顧客のあるべき輸配送網仮説をおいた上で、持続性も加味した拠点配置と輸配送を検討することで実現性の高い課題仮説を設計

①流通構造フロー

業界内一般的な流通構造フローに対する貴社独自の流通構造フローを暴く

②輸配送NWコスト

輸配送ネットワークにおける各エリア・ノード毎のコスト・配送ボリューム(車台数・什器数)の特徴を暴く

③輸配送効率

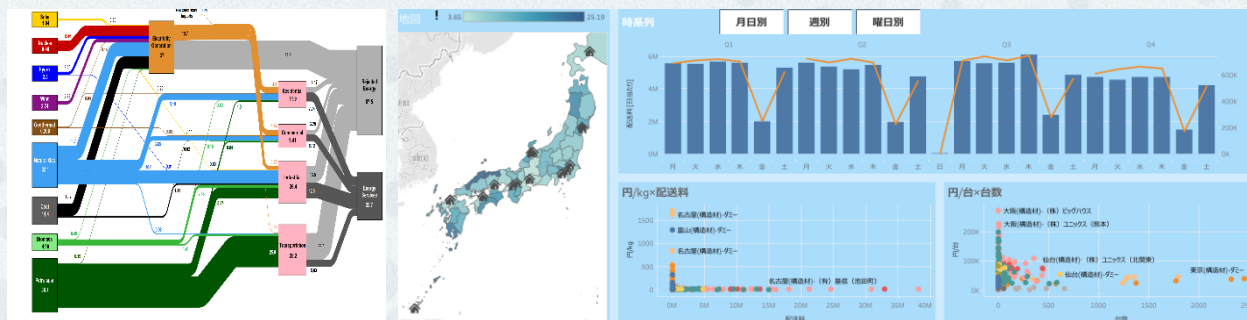
各ノード毎の輸配送ルート効率・積載率から見える課題を明らかにする

④輸配送NW距離時間

各エリア・各ノード毎の配送および距離時間から持続性のある輸配送ネットワークの是非を検証

弊社の強み

- BIツールを活用した経営層への効果的なレポート
- 輸配送ネットワーク診断から改善施策実行までの一貫支援
- データサイエンティストとコンサルタントによるデータ活用から実行支援までの完全伴走型
- 現場データと経営指標を結び付けたKPI設計・モニタリング手法
- グローバル／国内双方の輸配送ネットワーク改善実績



サプライチェーン課題診える化 ソリューション活用によるメリット

定量的根拠に基づいたサプライチェーン課題を全社へ示すことで
継続的な改善活動を展開していくための枠組作りの端緒とすることができます。

サプライチェーンコスト・
課題診える化

在庫適正・
課題診える化

輸配送ネットワーク・
課題診える化

メリット 1

全社(経営層)に向けた
企画立案

- ✓ サプライチェーンにおけるボトルネックが定量的示されることで改善すべき課題が明確になる。
- ✓ 説得力のある全社向け企画立案資料の作成が可能となる

メリット 2

経営戦略の充実

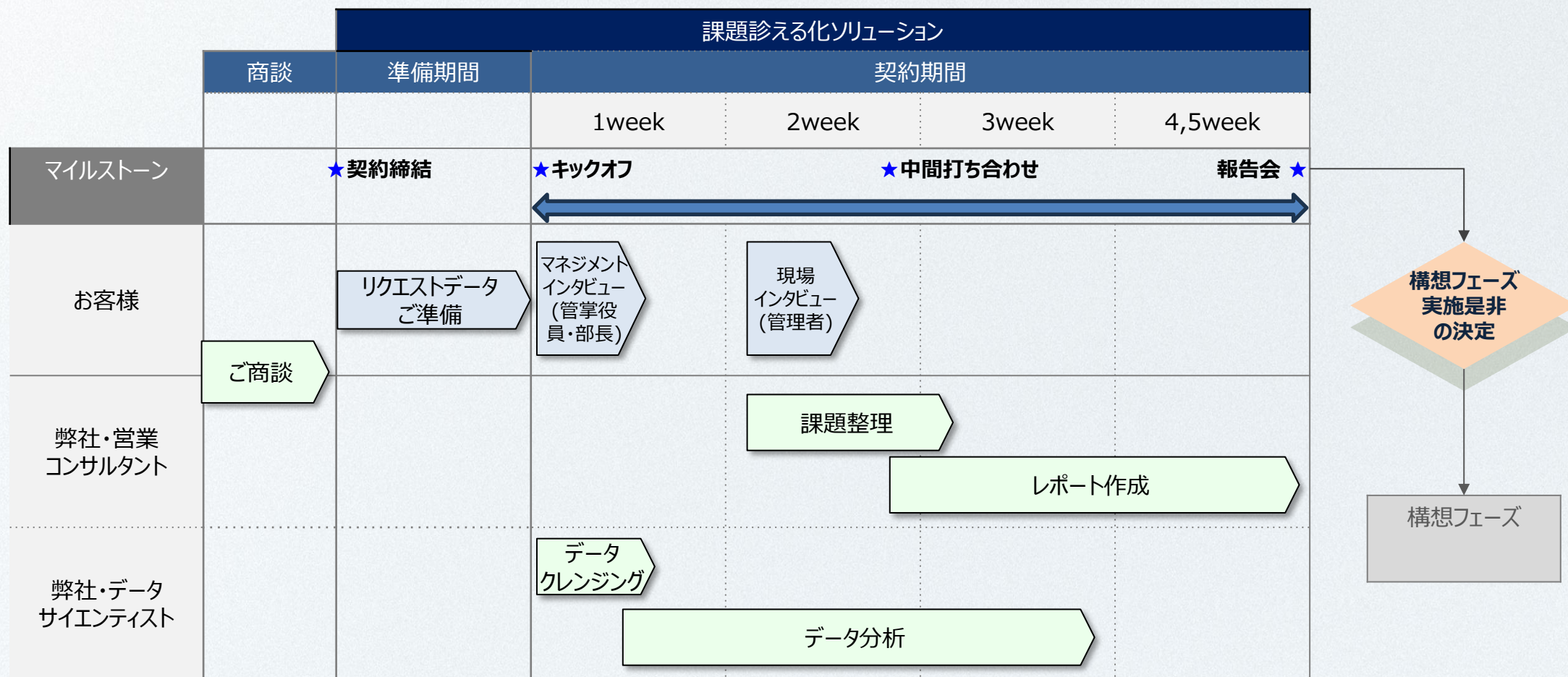
- ✓ 現況を俯瞰的に捉えたサプライチェーン課題は経営戦略との親和性が高い。
- ✓ 課題改善方向性に関して各部門の同意を得やすく、立案内容が経営戦略へ反映されやすい。

メリット 3

組織横断型
改善プロジェクトの発足

- ✓ 本来、1部門だけでは解決できないサプライチェーン課題が全社診える化されることで、課題解決方向性が全社で統一される
- ✓ 各部門の協力の元、問題の根本原因を迅速に特定し効果的な解決策を提示・実行していく枠組の構築が可能となる

事前に準備いただくリクエストデータのうち、必須データ項目が揃ったタイミングで契約開始。
開始後は、貴社との折衝を最低限とさせていただきアウトプット提示に向けてプロジェクトを完遂します。



輸配送分析(コスト)

輸配送分析(コスト)

物流特性分析

輸配送分析(コスト)

輸配送分析(積載率)

年度はじまり 出荷年度 配送カテゴリ 配送カテゴリ詳細 輸配送形体 拠点カテゴリ(出荷拠点) 出荷拠点名(漢字) 拠点カテゴリ(届け先拠点) 届け先拠点コード+エリア

4月 2024年度 配送 ダミー (すべて) (すべて) (すべて) (すべて) (すべて)

配送料
1,361,799,021

重量/容積
173,391,569 / 325,537

平均距離
127.8

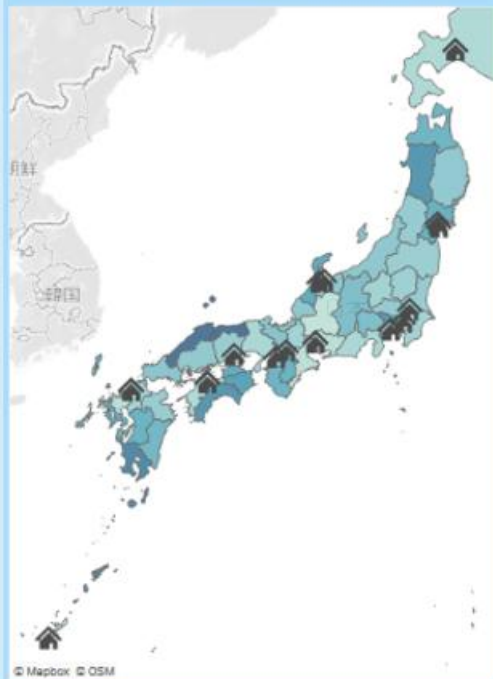
台数
32,595

円/kg
7.854

道順km当たり円/kg
0.004255

円/台
41,779

地図 ! 3.65 25.19



時系列

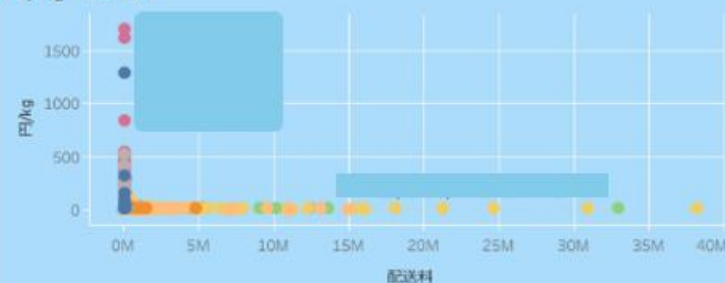
月日別

週別

曜日別



円/kg×配送料



円/台×台数



物流特性分析

物流特性分析

物流特性分析

輸配送分析(コスト)

輸配送分析(積載率)

年度はじまり

4月

出荷年度

2024年度

拠点カテゴリ(出荷拠点)

倉庫

▼

拠点カテゴリ(届け先拠点)

[すべて]

地方

[すべて]

重量

75,549,835

容積

4,613

出荷日数

301

配送回数

31,214

出荷拠点数

17

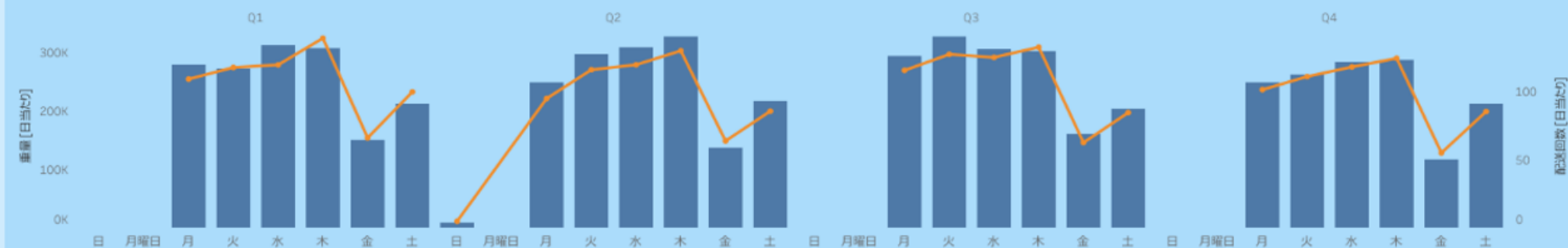
納品先数

時系列

月日別

週別

曜日別



出荷元

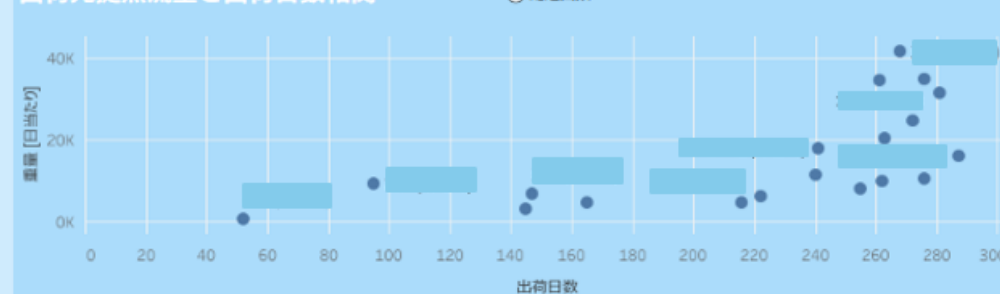
届け先

商品

出荷元拠点を道府県



出荷元拠点流量と出荷日数相関



輸配送分析

輸配送分析(積載率)

物流特性分析

輸配送分析(コスト)

輸配送分析(積載率)

年度はじまり 4月 出荷年度 2023年度 配送カテゴリ 配送 配送カテゴリ詳細 ダミー 輸配送形体 {すべて} 拠点カテゴリ(出荷拠点) {すべて} 拠点カテゴリ(届け先拠点) {すべて}

重量積載率

重量

容積積載率

容積

時系列

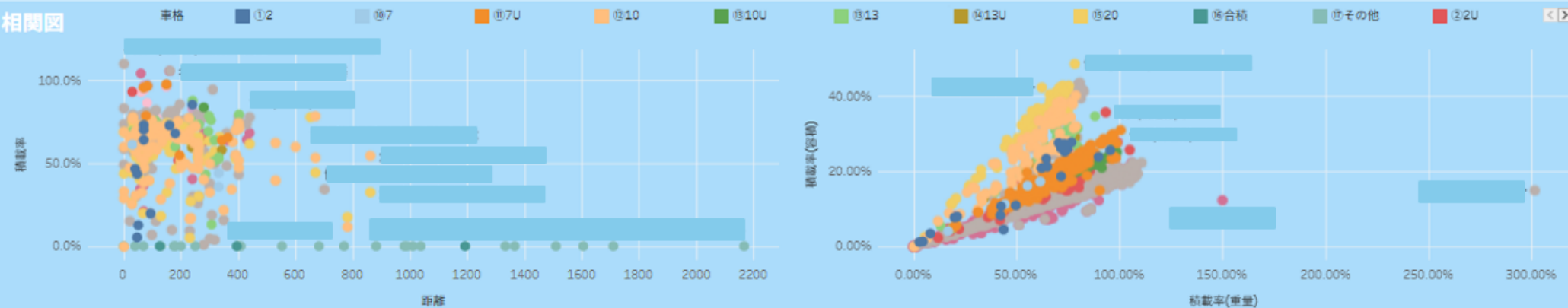
月日別

週別

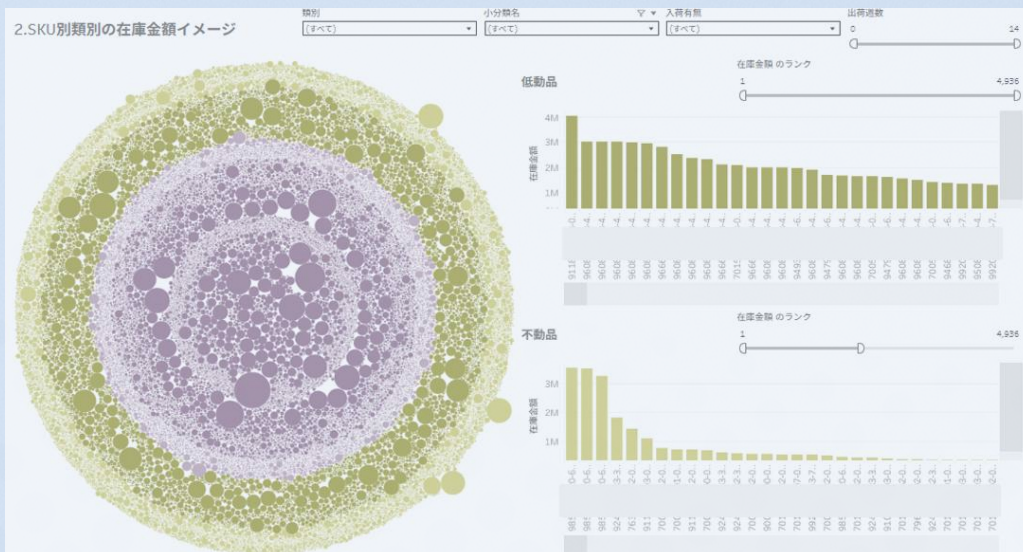
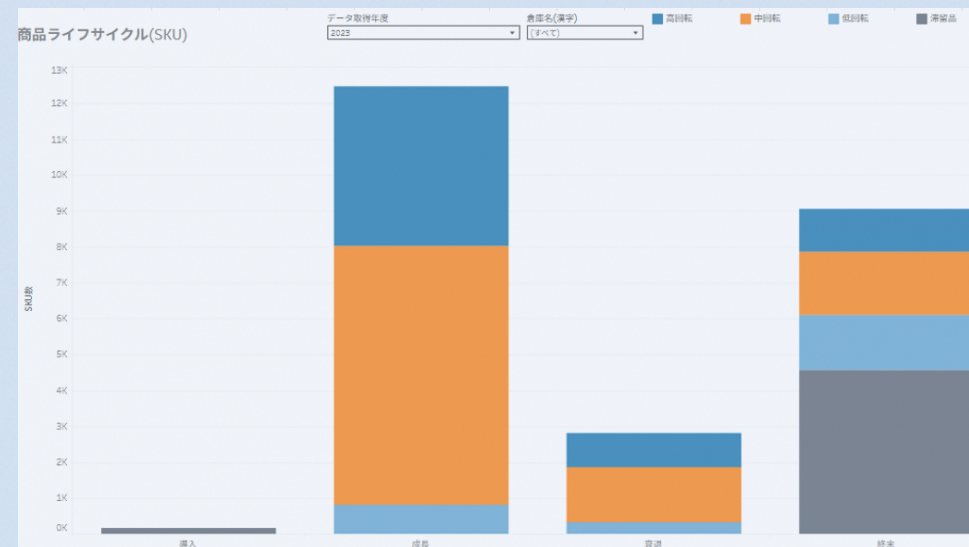
曜日別



相関図



在庫分析



THANK YOU

FOR YOUR ATTENTION



CONTACT INFORMATION:



+03-6263-0375



info@logicross.com



<http://www.logicross.com/>



G・M-3 Building 5F, 3-9-6
Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo

